

平成16年7月18日 福井豪雨災害 報告

平成16年7月25日撮影
野澤 竜二郎

平成16年7月18日の未明からの豪雨により、福井県北部の福井市・鯖江市・美山町・池田町・今立町・勝山市などでは河川の氾濫や斜面崩壊・土石流などが発生し、死者・行方不明者5名の大災害となった。災害復旧作業の最中の7月25日（日）に南部地域を中心に予察的に現地に入り、土石流や崩壊地などの現場を見回った。このときの様子を報告する。



鯖江市金谷町の土石流出口 この下流の集落が濁流に浸かる



鯖江市沢町の崩壊した民家 濁流と流木により1階部分は完全に埋まる。流木により家屋全壊



右の民家を下流側から撮影 土砂により河川がほぼ埋まっており、橋の向こうには潰れた家屋の屋根が見える



林道沿いに小規模な崩壊が多数ある



林道の半分が崩壊



林道上部が崩壊 道をふさぐ



林道法の小規模な崩壊



北側から見た服部川
橋アバットが洗掘されている



南側から見た服部川
河川をショートカットして右手から左手に流れた



道路のり面の崩壊(対策工で止まっている)



砂防堰堤で土石流の大部分が止まっている



道路のり面の崩壊



清水谷トンネルの池田町側 山腹に崩壊地があり、手前の河川では大水のために洗掘され護岸が破壊されている



池田町野尻土石流(右側の家屋は1階が埋没している)



池田町野尻土石流(鳥居の下部が埋もれている)



池田町野尻土石流(1階が埋もれた家屋)



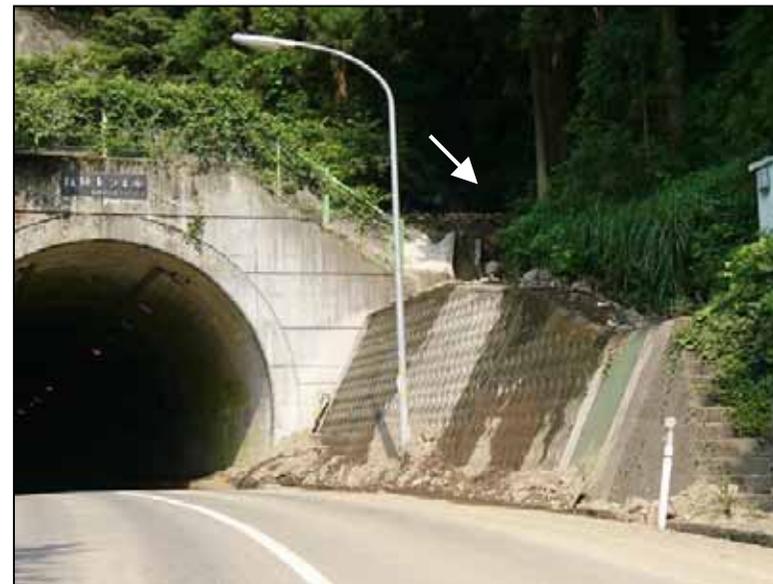
池田町野尻付近の足場川堤防決壊跡



道路のり面の崩壊



池田町寺谷付近の崩壊



板垣トンネル池田町坑口上部の小規模な土石流跡

まとめ

今回の豪雨災害は、足羽川などの破堤による水害と捉えられがちであるが、山間地にかなりの土石流や崩壊が発生している(下表参照)

現地を見た限り、土石流自体の規模は小さいものが多いが、ここから生産された土砂が既設河道を完全に埋めて濁流が越流し、山間の集落を襲い被害が拡大している。

流木等が多量に流出しており河川が堰止められたりして濁流の越流や破堤などが起こっていた。家屋の崩壊は、流木などによって起こっている場合が見られた。

透過式砂防堰堤により土石流を食い止めた箇所も見られる。

今回は、鯖江市・今立町・池田町が中心の予察であったため、美山町の状況は把握できなかった。

この災害では、土石流が多発しており、水害の拡大と土石流との関係等、興味深い。

砂防関係 被災箇所数 93

福井県土木部平成16年7月6日8:00現在

市町村名	がけ崩れ		土石流		地すべり		合計	
	被災箇所数	うち応急対応済数	被災箇所数	うち応急対応済数	被災箇所数	うち応急対応済数	被災箇所数	うち応急対応済数
福江市	5	0	2	2	0	0	7	2
美山町	5	0	17	12	0	0	22	12
大野市	0	0	2	1	0	0	2	1
勝山市	0	0	1	1	0	0	1	1
鯖江市	7	7	9	8	1	1	17	16
武生市	1	1	2	0	0	0	3	1
朝日町	2	1	0	0	0	0	2	1
清水町	1	0	0	0	0	0	1	0
今立町	3	3	27	25	0	0	30	28
池田町	0	0	8	0	0	0	8	0
合計	24	12	68	49	1	1	93	62